

教材・支援機器活用実践事例(特別支援学校版)

	実践名(実践年度)	四肢にまひのある生徒が、保育園において読み聞かせ活動を行う取り組み(平成30年度)
参加する授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input checked="" type="checkbox"/> 自立活動 <input checked="" type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	読み聞かせ隊を結成して、保育園で読み聞かせをしよう。
	授業の目標	・相手の反応に合わせて、読み聞かせをすることができる。 ・物語の展開や場面の様子が相手に分かるように、工夫して朗読することができる。
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	<input type="checkbox"/> 「知識・理解」 <input type="checkbox"/> 「技能」 <input checked="" type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 <input type="checkbox"/> 「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他()
	自立活動の要素	<input type="checkbox"/> 健康の保持 <input type="checkbox"/> 心理的な安定 <input type="checkbox"/> 人間関係の形成 <input checked="" type="checkbox"/> 環境の把握 <input type="checkbox"/> 身体の動き <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション
学習(集団)の実態	学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 小学生 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない 中学部3名、高等部3名、計6名
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input checked="" type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
子どもの実態	子どもの課題(特性・ニーズ)	<input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 読む <input checked="" type="checkbox"/> 見る <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 運動と姿勢 <input type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する <input type="checkbox"/> 日常生活活動 <input checked="" type="checkbox"/> 社会性・コミュニケーション <input type="checkbox"/> 不注意 <input type="checkbox"/> 多動性・衝動性 <input type="checkbox"/> 覚える・理解する <input checked="" type="checkbox"/> 時間的・空間的・人的交流の制約 <input type="checkbox"/> その他 対象生徒6名。生徒6名とも、本校の教育課程Ⅱ課程(知的代替の教育課程)を履修している。6人中5人は、四肢にまひがあるため、筆記や絵本のページをめくる等の巧緻性が求められる行為や活動には、課題がある。活動の幅を広げるためには、ICT機器等を代替手段として活用する必要がある。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称 (使用した支援機器・教材の名称を記載。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	iPad iPadアプリkeynote、  、ボイスメモ、ユニバーサルアー、  Bluetoothスピーカ
	活用のねらい(概要)	A コミュニケーション支援(<input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B 活動支援(<input checked="" type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input checked="" type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C 学習支援(<input type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) 本単元では、生徒が校外の場において役割を担い、目的を達成するために試行錯誤するというプロセスや達成感を味わう機会を体験する事により、主体性を高めることをねらいにおいた。その目的を達成するためには、多くの学習場面で生徒各自が自力で取り組めるよう工夫をする必要がある。以下の点で、ICTの活用を図った。 ①生徒自身が、自分の思ったことや考えたことを自分の思うように記録できるようにiPadを活用する。 ②絵本の操作やメモの操作を自分の力でできるようにする。
	活用方法	①生徒自身が絵本の読み聞かせ方や工夫点を考える活動場面で、自分の思ったことや考えたことをkeynoteのノート機能を活用して写真で記録したり、自力で書き込む。(音声入力で)。 ②読み聞かせ会や朗読会の場面では、keynoteを操作し、自力で読み聞かせを行う。物語の展開の中で、効果音を入れたりする。
効果・評価	ICTを活用した授業での子どもの様子や変容および授業の評価	①生徒は、考えたことを自分のペースで書き込めるということもあり、代筆に比べ多くの発言したり、自分の考えを記録する様子が見られた。また、文字を強調させる機能や文にアンダーラインを引く機能を活用して、生徒自身が文中の中で重要だと思う部分に印を付けたり、それを後で確認したりと思考する際にiPadを活用する姿が見られた。しかし、生徒の発声の不明瞭さやiPadの音声読み取り機能の正確性に課題があったため、誤字脱字を確認する時間が、適宜必要であった。 ②読み聞かせ会や朗読会では、一人で読み進めたりと少ない支援や介助で取り組んだことで、達成感を得ることができていたようであった。
資料	図・写真・表等 (生徒の写真は個人情報公開の確認を取っているものとする。)	    iPadを使っでの話し合い活動 ・保育園での読み聞かせ会 ・読み聞かせ後の交流の様 ・朗読会の様